

0293

2

船海長崎書

船海長崎書

一 衝突迄ノ状況(附圖添卷照)

二 損傷ノ状況及修理ノ要否

三 船主職隊ノ乗取ル警戒後復常回航

四 損傷個々見取圖

合

軍艦隊通及廻道艦隊衛実之圖を審員

明細書

一、衛実之状況 (附圖系照)

軍艦隊通 昭和二年八月廿四日 聯合艦隊第八回基本演習之参加シ

乙軍第五戰隊第二中隊、先頭艦トシテ三番艦那阿リ五十月今日午後

十時美保湾諸地ヲ出港 間セテ第一戰隊廿五ノ増速ヲ略北廿九ノ

東ノヲ進、今十時廿五分乙軍命令第一号ノ索敵既後、就ク為メ

地孫崎燈台ヲ西回シ見テ北廿五ノ東ニ至テ今十時廿八分第一戰

隊北ノ節ヲ令シ今十時四十分回航既定 (地孫崎ノ北廿九ノ東) 十五 四七五(廿八

二、損傷、状況及事後要置

(一) 損傷、状況

(1) 船体、損傷(損傷箇所見取図参照)

一番十四粒砲(二十九番砲)より前方至上甲板以下諸区劃に全部破損
損傷失又、其後部ニ於テハ上甲板以下ニ在リ冷射機室ハ擡り舟
破小銃彈系庫等ハ壁破損シテ何レモ浸水又後ハ障壁
(参考九番砲)ニシテ神砲十番ノ砲ニ

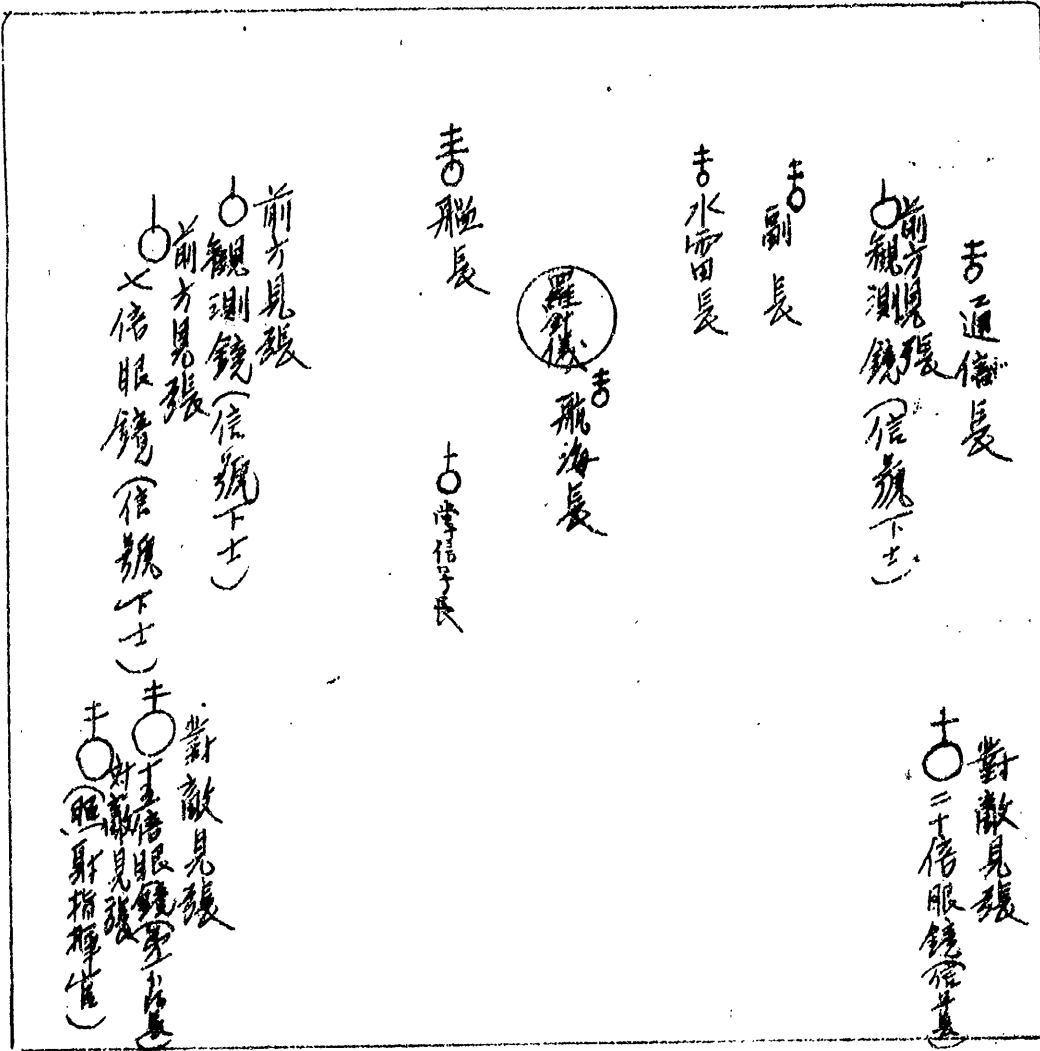
(四) 人員、死傷

挫傷三、挫創一、熱傷四、内挫傷一、為稍重傷、外他何レモ輕微
死者、行衝、不為、無シ

(二) 事後、要置

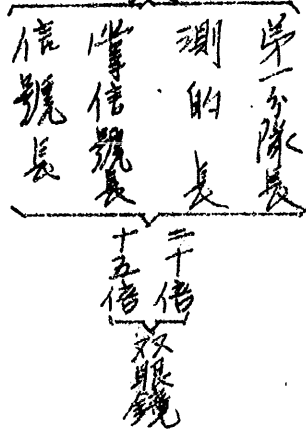
衝突後直ニ防水、石ニ防水部、既カレノ損所ヲ調査シ、錫
鍍、庫中ニ兵員、庫中、且、以下ノ諸名、庫中、浸水セシ、損、

第八回基本預習中前艦橋特別配置圖

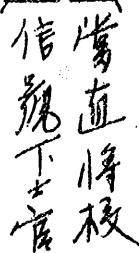


備考

對敵見張



前方見張



第百基本練習中兵科准士官以上配置表

職	官	氏	名	配置	主任	效力
砲術長	少佐	西尾	不二彦	檣樓	射擊	指揮
航海長	少尉	延谷	保司	艦橋	操	艦
水雷長	大尉	古村	啓藏		射	指揮
通信長		西澤	誠二		通信	指揮
第一分隊長		長屋	英		見張	指揮
測的長	中尉	島崎	繁一		照射	指揮
航海士	少尉	松本	作次		推測	艦位記入
砲術士	中尉	黒川	善喜		實測	艦位記入
副長附	少尉	大橋	勝夫		副直	將校
第二分隊長		北村	英策		審判	官附

備考 其他 固有 配 置 一 依 ん	掌 信 親 長	候 補 生 附	候 補 長 生 附	候 補 長 生 附	候 補 長 生 附
	兵 曹 長	〃	〃	〃	候 補 生
	大 塚 長	大 森 潤 一	井 出 武 夫	山 仲 傳 吾 艦	橋
	〃	〃	〃	〃	合 戦 回 演 習 記 事
	見 張 業 信 親	信 親	水 雷 長 補 佐		

(歟)

軍艦神通准士官以上配置表

職名	官	氏名	戦闘配置	備考
艦長	大佐	水城圭次	艦橋	
副長	中佐	吉田四郎	艦橋	
航海長兼分隊長	少佐	延谷保司	艦橋	
砲術長	少佐	西尾不二孝	射撃指揮所	射撃指揮官
水雷長兼分隊長	大尉	古村啓藏	艦橋	發射指揮官
通信長兼分隊長	大尉	西澤誠二	艦橋(運信室)	通信長
分隊長	大尉	長屋茂	砲台	砲台長
分隊長	中尉	島崎繁一	測的所 (艦橋)	測的長兼照射指揮官
衆組	少尉	大橋勝夫	適宣	副長所
衆組	少尉	北村英策	測的所 (艦橋)	測的士
衆組	少尉	松本作次	艦橋	航海士

架	架	架	架	架	架	架	架	架	架	架	架	
組	組	組	組	組	組	組	組	組	組	組	組	
機少尉	機中尉	機大尉	機大尉	機中佐	兵曹長	特務少尉	兵曹長	兵曹長	兵曹長	少尉	特務少尉	中尉
木原一蔵	山田精二	松尾祐一	石川雄三	新保彪三	川岸徳次郎	岡 審二	西川熊太郎	則内直正	阪口繁太郎	三宅好文	大澤清水	黒川善喜
前部機械室	前部發電機室	第三罐室	前部機械室	前部機械室	上甲板	電信信	水雷砲台	通 匣	砲 台	電信室	水雷砲台	發令所
機械部附系機関長附	補機 電機部指揮官	罐部指揮官	機械部指揮官		掌帆長	掌通信長	掌水雷長	掌砲長	砲台附	通信士	水雷士	砲術士

架	架	架	架	架	主計長兼分隊長	軍醫長兼隊長	架	架	架	架	架	架
組	組	組	組	組			組	組	組	組	組	組
少尉候補生	兵曹長	船曹長	主曹長	主少尉	主大尉	医大尉	機曹長	機曹長	機特少尉	機特少尉	機特中尉	機少尉
山仲傳吾	大隊長左郎	木村長太郎	渡辺計雄	石田 登	三井正義	森島録雄	長野恒義	武内松三郎	繁澤一忠	日比野忠治郎	糸原 壽	水上竹二
船橋	船橋	下甲板	適 宜	適 宜	適 宜	前部治療室	第二鑑室	第四鑑室	後部鑑室	後部鑑室	機関料倉庫	第三鑑室
砲術長附	電信長	船匠長	常任理長				次序長	在 長	補機長	機材長	常機長	機部附

								采	采
								組	組
								少尉候補主	少尉候補主
								大森潤一	井出武夫
								艦	艦
								橋	橋
								瓶海長所	水雷長所

軍艦神通航泊日誌

時分

記

事

一〇	北東ニ表針
七	警戒
二一六	左三十度ニ伊勢方形ヲシキ艦影ニ隻ヲ認ム
四	第三戰速トナス(二一〇。回轉整定)
四	左三十度ニ探照燈ヲシキモノヲ認ム
五	艦内哨戒配備トナス
三	地藏崎燈台ヲ西回渾ニ見テ北三十五度東ニ表針
一	夜戰
五	第一戰速トナス
二	解散、那珂本艦ノ通跡ヲ追ム
一〇一〇	第八回聯合艦隊基本演習開始

備考
航泊日誌
時刻ニ
エノニシテ
依リニ分
又函者函
岩南番

及針

備考

航海日誌ト機測日誌トノ間ニ速力変換
時刻ニ差異ナル時計ノ見誤リニ依ル

モノニシテ何レヲ正ナリト判定スルコト能ハス

(依リ一分宛及對ニ讀ミ誤リナリトスレハ二分間)

誤差ニ免レス

又函者間ニ速力ヲ異ニスルモノアルハ速力通信

若當番ノ錯誤ニ依ルモノト認ム

(終)

0307

二 一	第一戰隊第二小隊我ヲ照射砲撃ス
二	東北東ニ表針
一三	第三戰隊トナス(伊勢型ト最短距離能正確約三〇米)
〃	東南東ニ表針
一四	舷燈ヲ点ス
一五	南東ニ表針
一六	舷燈ヲ滅ス、第三戰隊トナシ面舵ニ轉舵
一六	左前方迄距離ニ駆逐艦ヲ認ム、航海燈ヲ点ス、能 度ニ續テ取舵一杯ニテ之ヲ避ク
一九	更ニ續航スル駆逐艦ヲ認ム、両舷停止、後進全速
二〇	駆逐艦巖ト衝突、両舷前進原速、續テ停止、能 中央
二一	防水(防水箇所前部損所)防火(火災場所前部機油庫)

海軍

	<p>總艇即方ヲ令ス</p>
二三	<p>蕨沈没ス、沈没位置地藏崎北三十九度東三十一度七五</p>
二五	<p>鎮火 第二「カッター」ヲ即ス</p>
二六	<p>第二内火艇第一「カッター」ヲ即ス</p>
二八	<p>第三「カッター」第一内火艇ヲ即ス</p>
五六	<p>演習終結</p>
〇一	<p>蕨兵員六名ヲ救助ス</p>
一一	<p>強速以上ノ罐消火</p>
一五	<p>蕨兵員二名ヲ救助ス</p>
三一	<p>救助作業ヲ中止シ短艇ヲ艇尾ニ繋ク</p>
	<p>(終)</p>

昭和二年九月一日 舞鶴

神通航海長 延谷保司

神通蕨衝突事件首席査問委員殿

調査事項ニ関スル件

昨三日小官御査問ノ際調査ヲ為シ置、標命
セラシ美諸項調査ノ結果左記、通ニ有之

右回答ス

左記

一 軍艦神通ニ於テ海ノ田基本演習、為ニ特定セラシ
名見張配直ニ在ルニテ海ニ十六駆逐隊、即
珂、右尾ヲ駛リ名特之レヲ発見艦長ニ由ケル
ニアリヤ

信親長之レヲ發見シ艦長ニ驅逐隊ヲイモ
カ艦尾ノ方向ニ見エマスト御留セリ

ニ特定見張配置中右方見張ハ如何ニナリ居リヤ
特別配置中ニ特ニ右方見張トシテ規定セザリシ
モ一般見張ノ外右方及那珂ニ対スル見張トシテ信
親兵曹一ヲ配シタリ

ニ驅逐艦ヨリ神通ニ青赤燈ヲ縦ニ連掲セルヲ見タリ
ト云フモノアリ果シテ此ノ如キモノ出シアリシヤ

當信親長ニ就テ調査セシニ當日ハ航海燈ノ
吳波ハ凡テ掌信親長及信親長之レニ當リ
尤今慎重ニ行ヒシヲ以テ誤テ青赤連掲ヲ吳
セシカ如キトハ萬々ナカルト信ス掌信親長ハ
探照燈ヲ正面ヨリ見サレ特ニ往々青燈ト見誤

ルフトアレン或人探照燈ト左舷々燈トカ上下ニ重ナリ
テ見エシニ非サルヲ云ヒ居レリ

海軍

(終)

軍艦那珂

聯合艦隊第八回基本演習記録

昭和二年八月十四日午後十時。分
至昭和二年八月十四日午後十時五分
於泊着沖

天候曇天ノ暗夜 風向東 風力五

視界約五六千米 月齡二十七日

時分

記

事

九一三五

合戦準備續テ戦闘部署ヲ整フ

一〇一〇

演習開始 續テ拔錨

一〇一一三

第一戦速

神通ノ通跡ヲ達シ針路適宜

一〇一二五

北二十五度東ニ変針

一〇一五〇

第三戦速

一〇一五三

左舷約三十度ニ伊勢型ヲ認ム

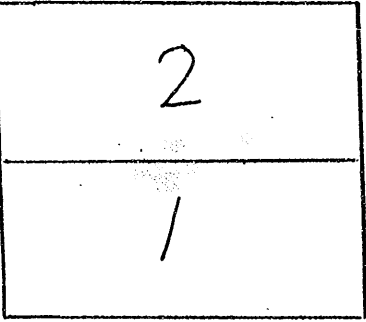

毎

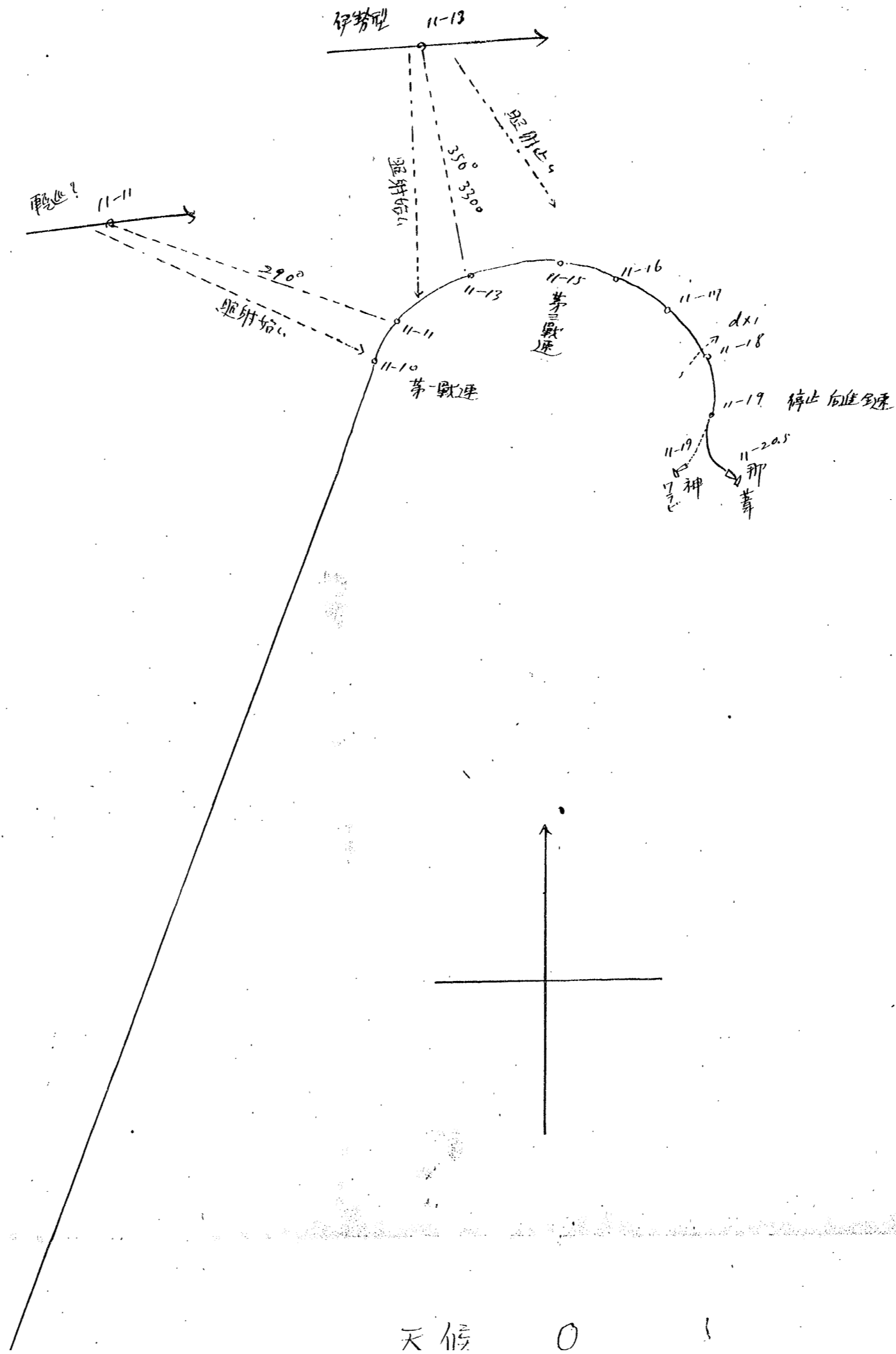
五

一一〇	第一戦速
一一二	左舷艦尾方向ヨリ探照燈ノ照射ヲ蒙ル
	面砲 漸次右回頭
一一二	伊勢ノ照射砲撃ヲ受ク
一一一五	第三戦速
一一一九	神通 駆逐艦ト衝突
一一二〇	本艦艦首葦艦尾ニ衝突
	防水部署ニ就キ應急作業ヲナス
一一二一	各カッターヲ卸シ葦ノ救助ニ送ル
一一二五	演習終結

巻

分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影 順 序	
分割撮影 した 理 由	A 3 判以上のため
<p>上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p>12 年 6 月 5 日</p> <p>主務者又は</p> <p>撮影立会者 三 浦 悟 </p>	



聯合艦隊第八回基本演習合戦圖

自昭和二年八月二十四日午後十時。分
至
午後十一時三分

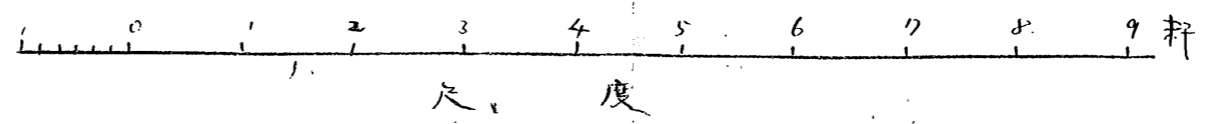
天候 0

頻習合戰圖
時分
時分

於美保岡沖

第五戰隊
那珂

天候 0
 視界 6
 風向 E
 風力 5
 波浪 2-3
 月齡 27

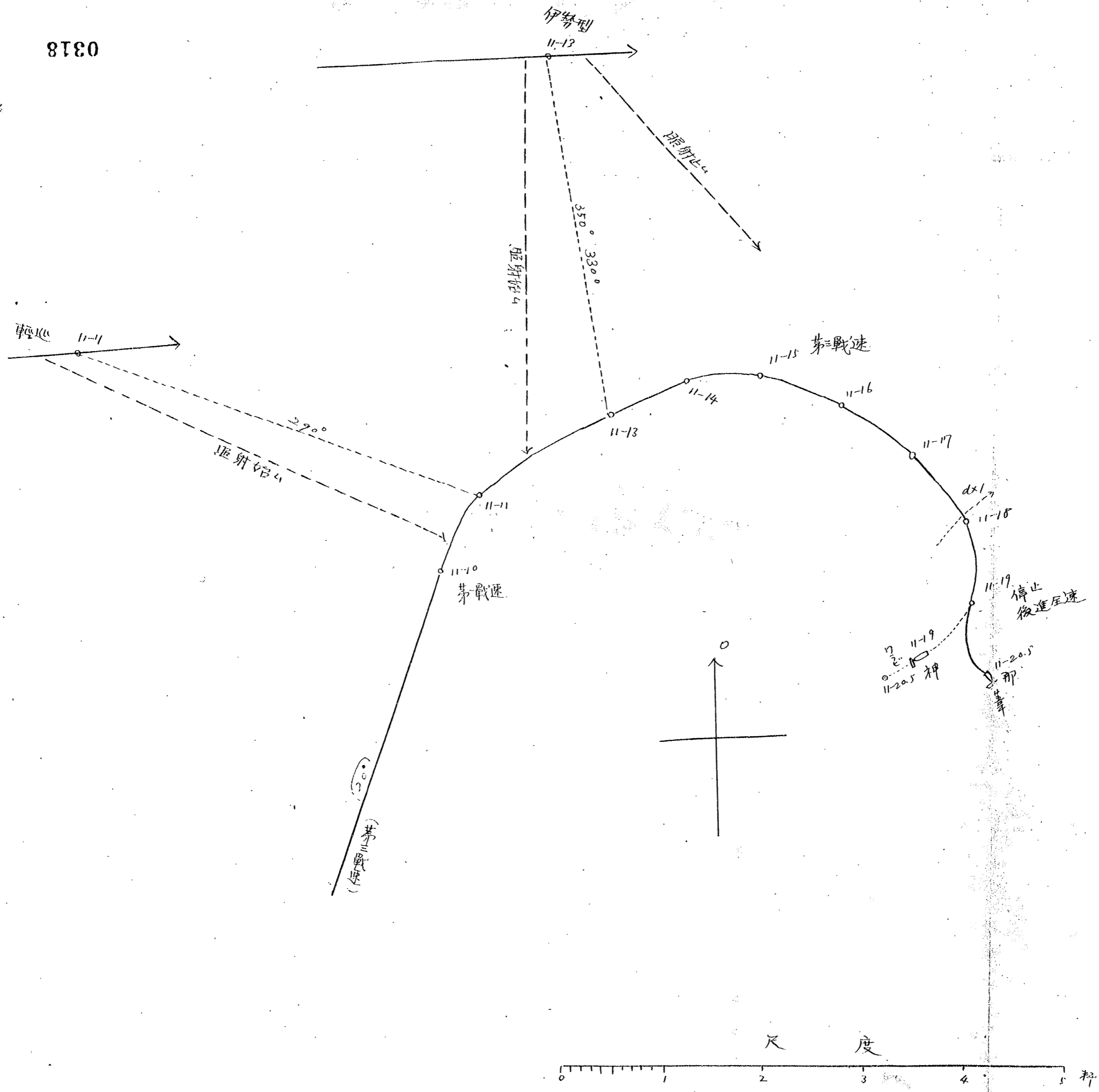


0317

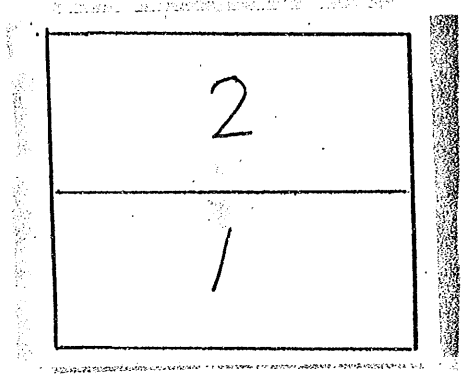

20°

010-50
第三戰隊

10-25 (北嶺崎 Lt 27°3.8')
(第一戰隊)



分割撮影ターゲット

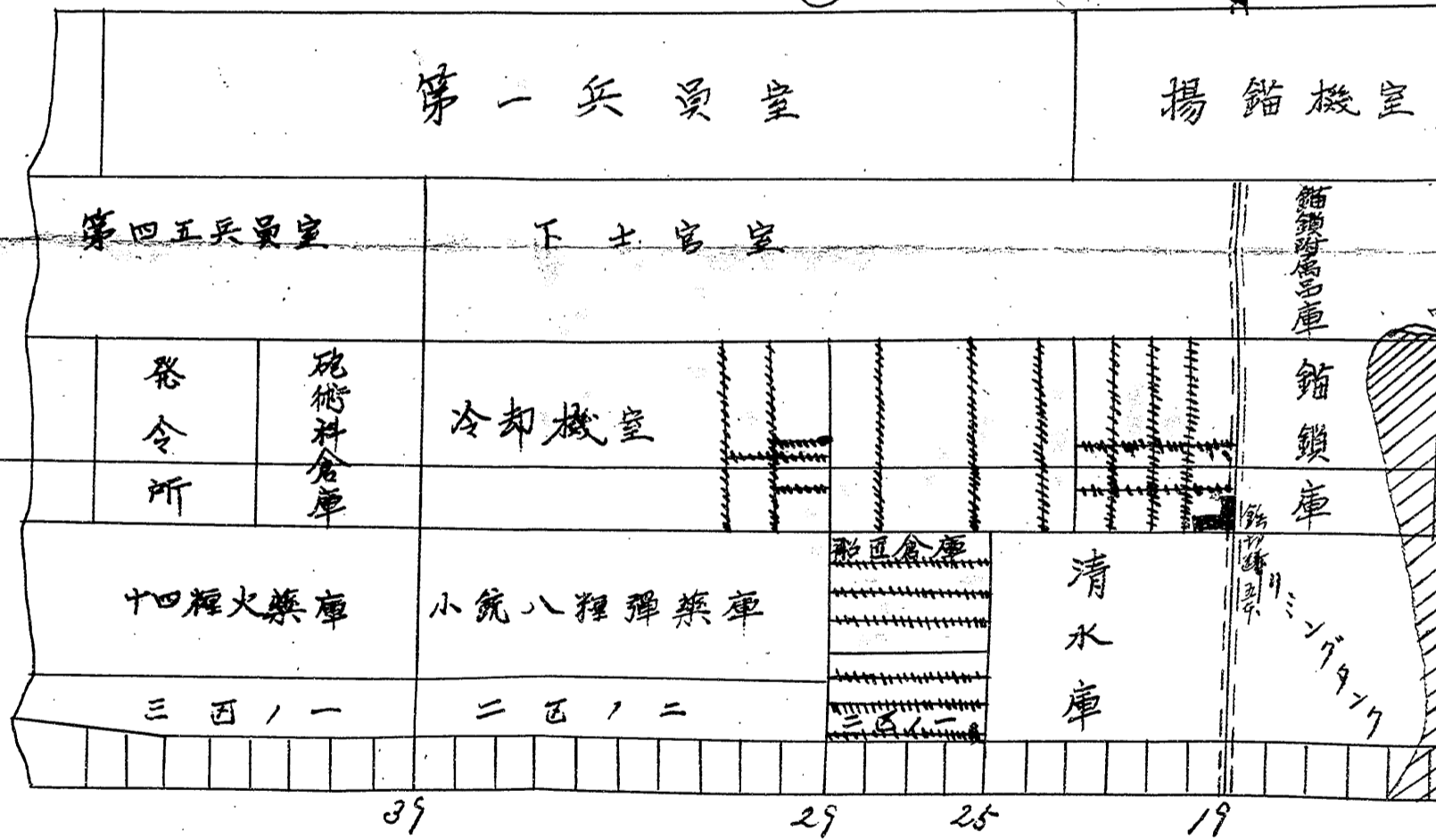
分割した 部分の撮 影 順 序	
分割撮影 した 理 由	A 3 判以上のため
<p>上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p>12 年 6 月 5 日</p> <p>主務者又は 撮影立会者 三 浦 悟 </p>	

右舷 那珂横所畧圖(縮尺一分一吋ヲ以テ一呎トス) 側面

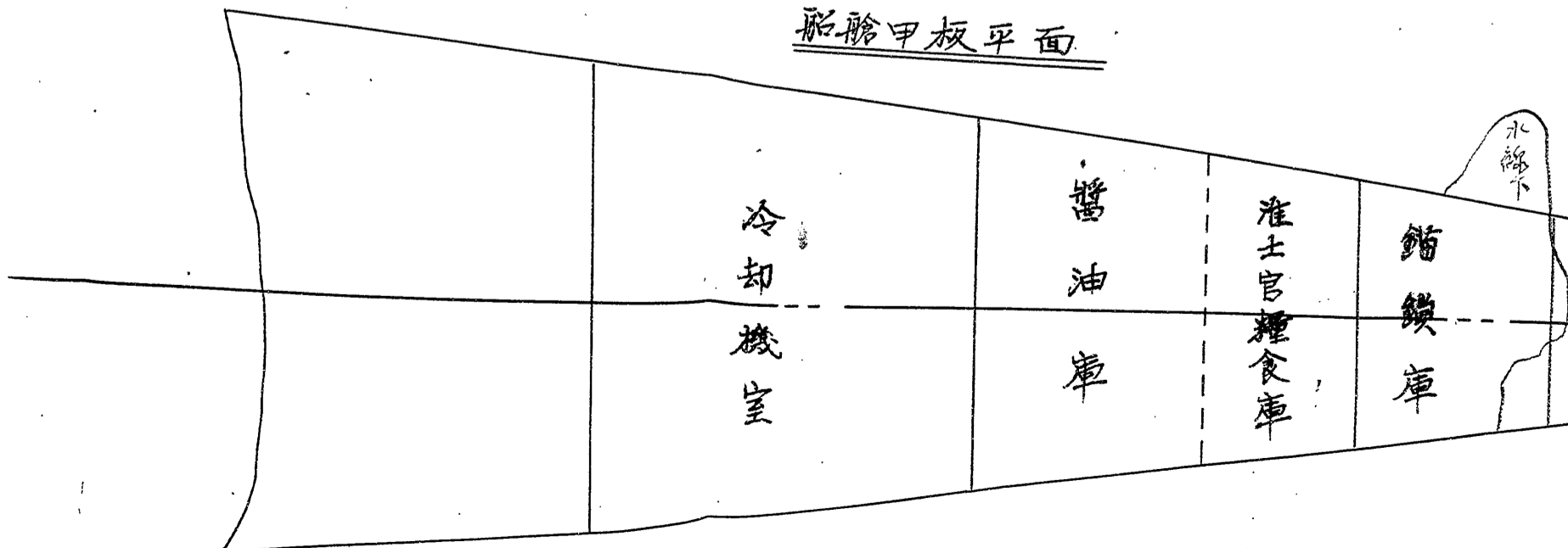
右舷ヨリ見タル側面

- 一 赤線ハ破損ノ所ヲ示ス
- 二 青点線ハ位置ヲ防水
- 三 点線ハ應急補強材(全七寸角材) 三呎間隔

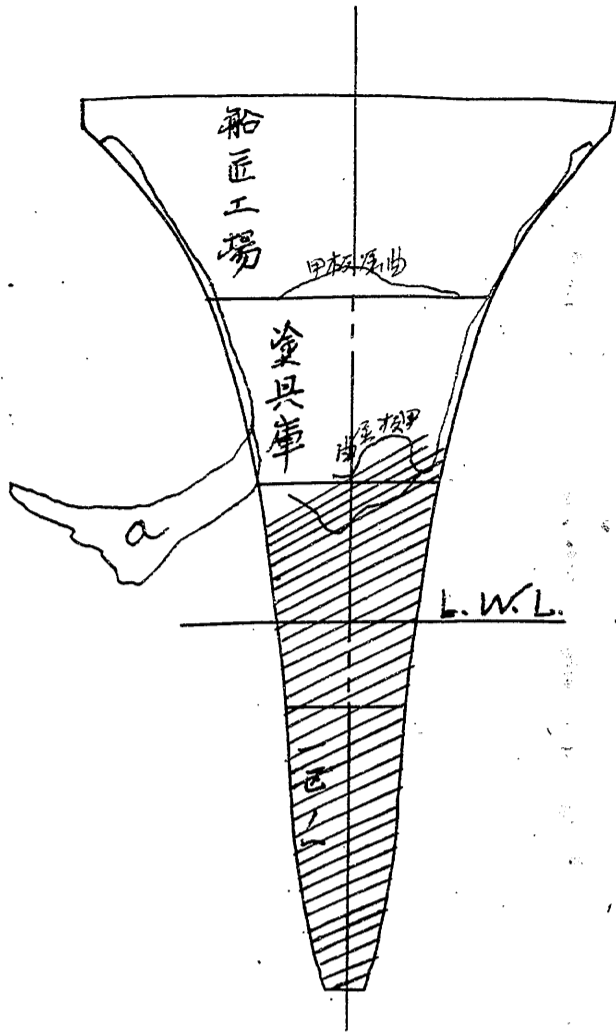
銃盤中心



船艙甲板平面



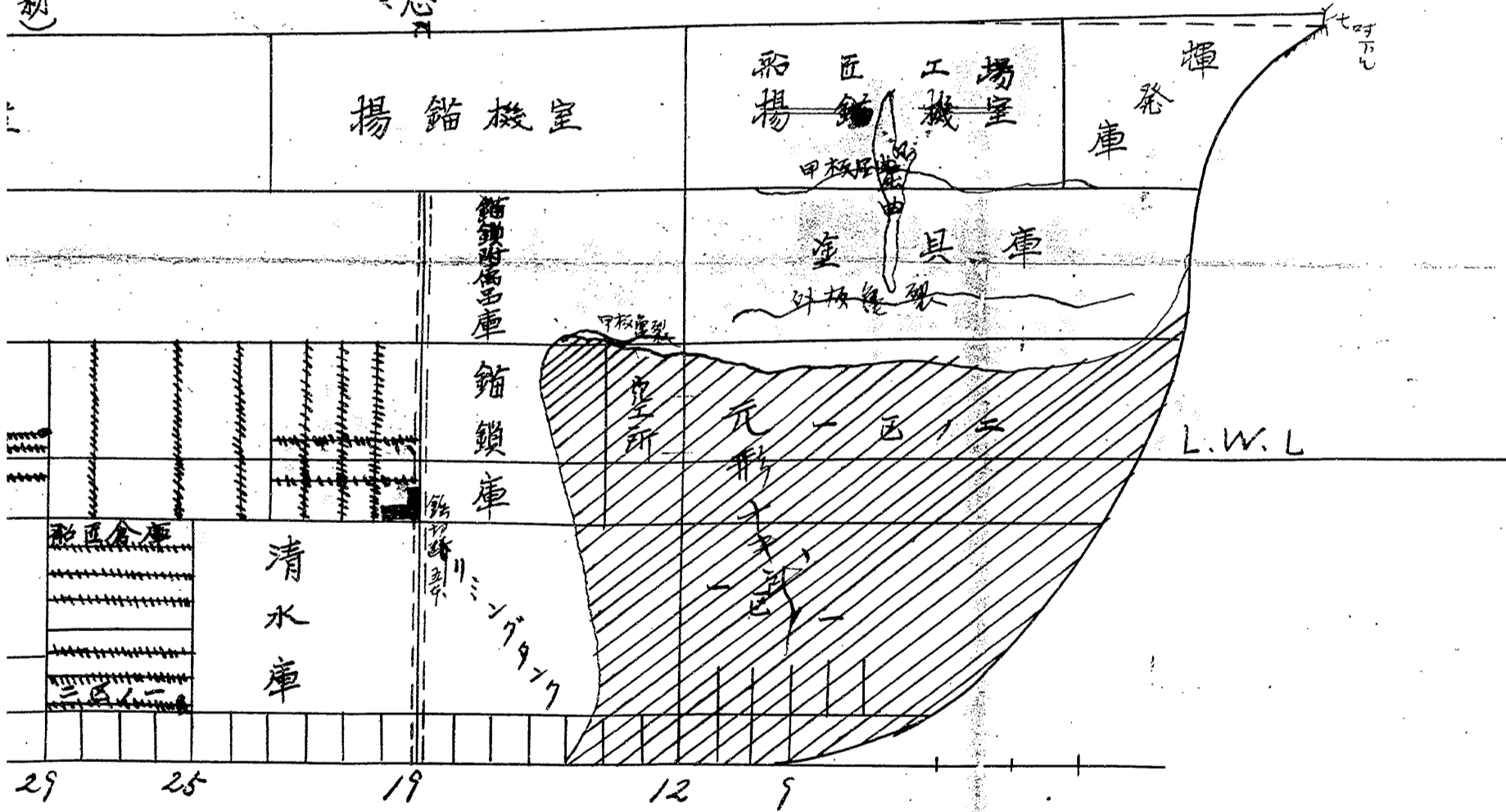
10.9c-4 切断面



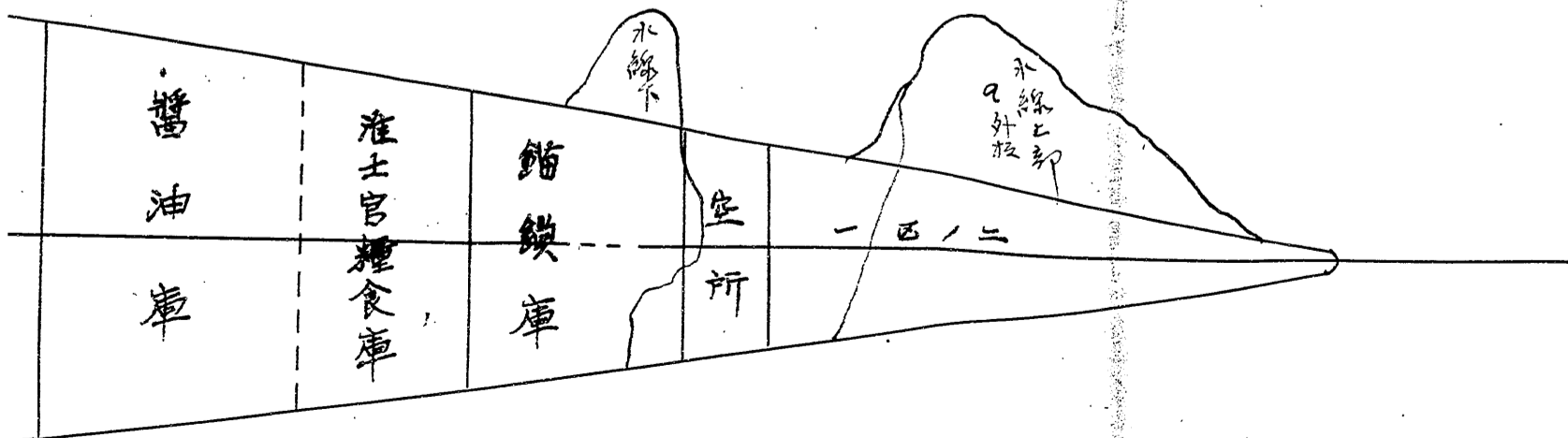
カ以テ一呎トス) 側面

- 一 赤線ハ破損ヶ所ヲ示ス
- 二 青点線ハ位置ヲ防水
- 三 点線ハ應急補強材(全七寸白木)

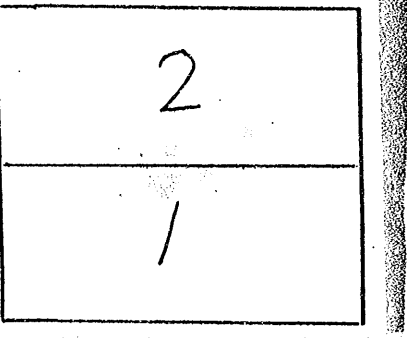

絞盤中心



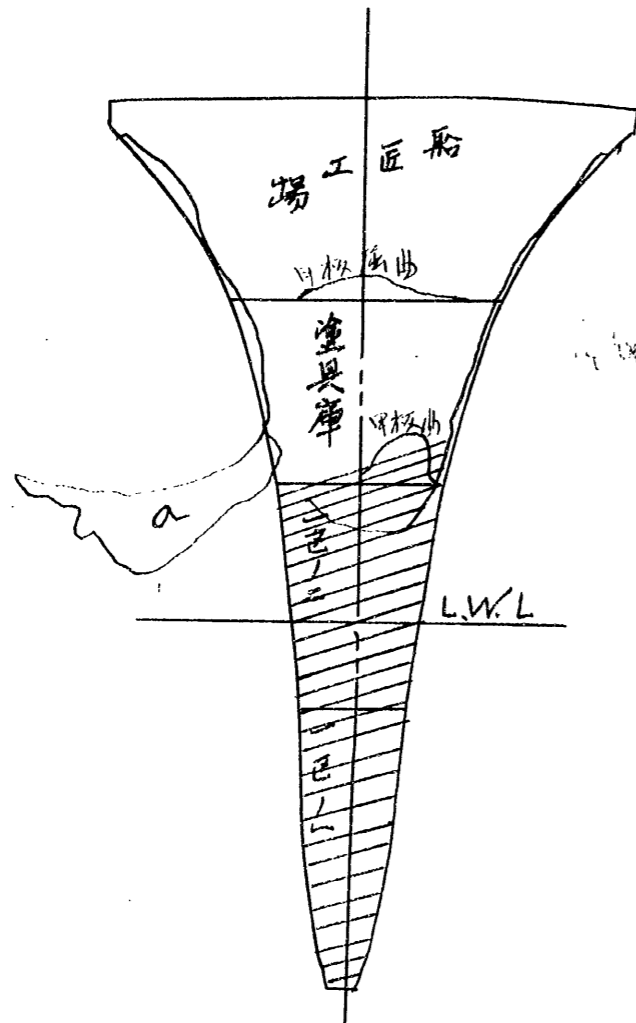
又平面



分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影順序	
分割撮影 した 理由	A 3判以上のため
<p>上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p>12年6月5日</p> <p>主務者又は 撮影立会者 三浦 悟</p> 	

No. 9 ビーム 切断番



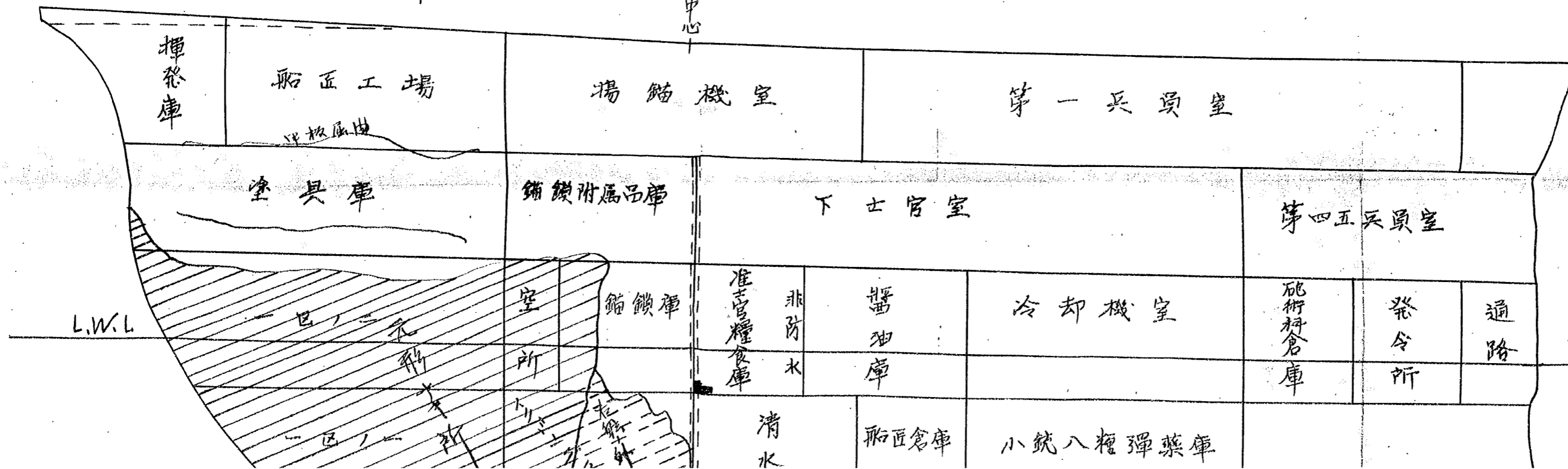
那珂損所畧圖 (縮尺八分一吋ヲ以テ一公尺トス)

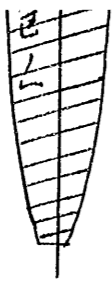
側面

一 赤線ハ破損ヶ所ヲ示ス
 二 青点線位置ヲ防水
 米 小應

左舷ヨリ見タルモノ

絞盤中心

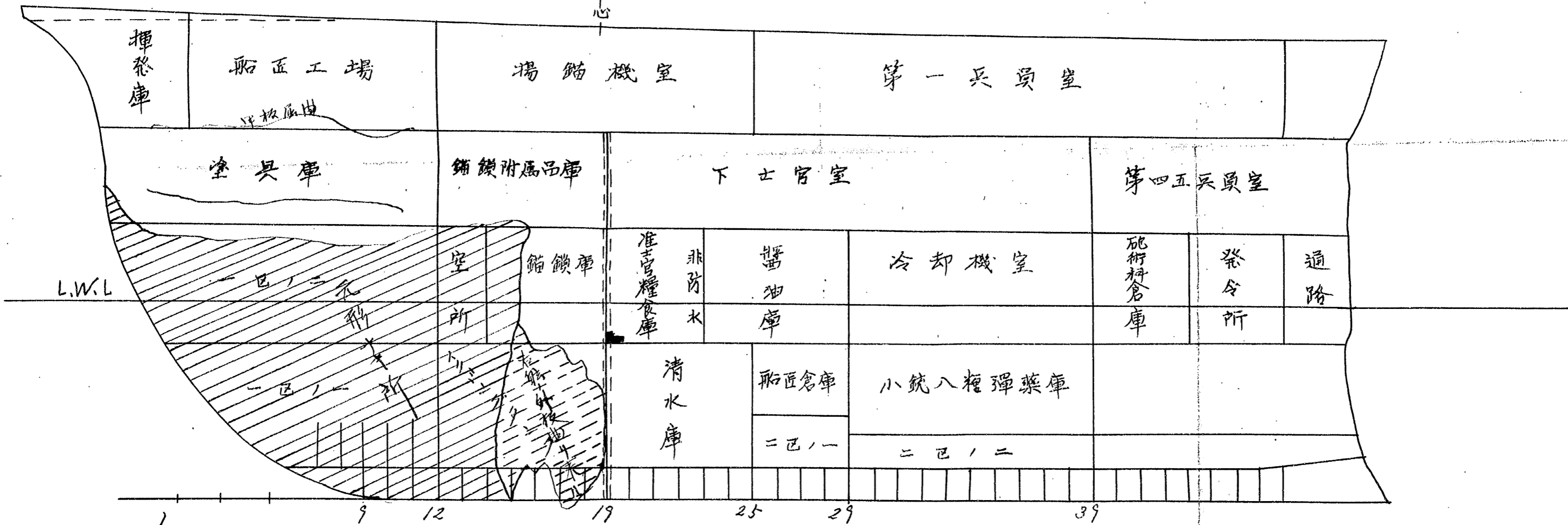




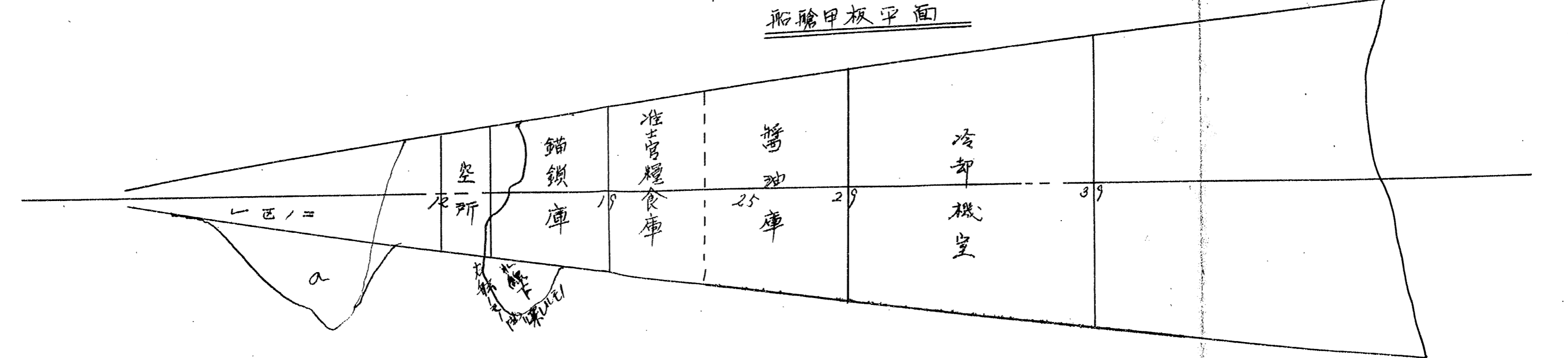
絞盤中心

此ヶ所ヲ示ス
置テ防水

七ノ



船艙甲板平面



0322

時	分	送信艦	受信艦	内容
一〇一〇	〇	神通本艦	貴艦	前ヲ通ル
一〇一五	〇	〃	〃	(一) 後衛ヲ對テ擬テ射ハ統一指揮ヲナサス
一〇一五	〃	〃	〃	吾弟一戦速
一〇一五	〃	〃	〃	針路北二十五度東
一一一四	〃	〃	〃	一連送 2 2
一一一五	〃	本艦	乙軍	一連送
一一二一	〃	〃	(四)	神通那珂共ニ緊逐艦ニ衝突救助ヲ要ス
一一二五	〃	本艦	〃	本艦乗員大部分海中ニ落キテ救助ヲ要ス

聯合艦隊第八回基本演習記録

自昭和三年八月二十五日午前十時。分 於伯耆沖
至今日 日午七時十五分

軍艦那珂

信文

(送)

一一一五本 艦	(四) B	不連送
一一一八〇	神通	探照燈消サレタリ
一一一三一〇	(四)	神通那珂共ニ駆逐艦ト衝突救助ヲ要ス
一一一二五 幕	(四)	本艦ノ乗員大部分海中落チタ救助ヲ要ス
一一一三五 本 艦	(四)	幕共位置ニテ危険ナリ

洋

旬

艦

當直記 錄 拔 萃 軍 艦 那 珂

時 介

記

事

八月五日
九一三五

合戰準備 (整備四分)

九一四六

夜戰教練 (整備五分)

九一五一

近 錨

九一五二 其一場 = 休 *

九一五四 出港用意 (投鉛手出場)

九一五六

起 錨

九一五八 左舷核前進微速 右舷核後進微速

九一五九

右舷核停止

一〇一〇

演習開始

一〇一一

函舷核前進半速

母

屋

一〇一二	正錨 兩舷棧前進原速
一〇一三	兩舷棧前進半速
一〇一四	兩舷棧前進原速
一〇一三	第一戰連 神通ノ通路ヲ進ム針路適宜
一〇一四	解散(投鉛手退場)
一〇一五	北二十五度東ニ変針
一〇一五〇	第三戰連
一〇一五五	左舷ニ伊勢型ヲ認ム
一一一七	伊勢照射ス
一一一二	第一戰連
一一一五	第三戰連
一一一七	右回頭
一一一八	駆逐隊右舷艦反航

第

頁

<p>一一九 神通(取) 艇ト衝突 取艇一杯</p>	<p>西船様停止 續テ後進全連 探照灯航海灯ヲ点ス</p>	<p>一一二〇五 本艇船首葦艇尾ニ衝突</p>	<p>一一三一 錨鎖庫浸水 防水</p>	<p>西船様停止</p>	<p>一一二二 各カッターヲ卸ス</p>	<p>一一二五 葦艇本艇ノ左四十度ニ於テ浸水右ニ傾斜</p>	<p>危険ニ瀕ス</p>	<p>瘡習 終結</p>	<p>一一二六 葦艇ノ附近ニ漂泊救助ニ努ム</p>
----------------------------	-------------------------------	-------------------------	----------------------	--------------	----------------------	--------------------------------	--------------	--------------	---------------------------

海軍

航海日誌抜萃

軍艦那珂

昭和二年八月二十四日 水曜日 (自美保閣 至舞鶴)

時刻	航路	航程		風		航向	天	雲		気圧		気温		海水		波		錨
		増測	測定儀	方向	力			形状	雲量	晴雨計	附露露計	整露露計	濕露露計	温度	比重	種類	方向	
10	N34E		0	E	10 ^m	0	Ca	9	762.2	26.5	25.5	22.0			3	E		
11	000E	17.5	17.5	"	12 ^m	"	"	10	762.3	28.0	25.0	"	2.5	21	"	"	6690 6735	
正午	"	10.0	27.5	"	9 ^m	"	"	9	762.0	27.5	"	"	"	2	"	"	6755 6710	

時分	記	事後
8-35	合衆準備(整備4分)	
9-46	夜霧教練(整備5分)	
9-52	其ノ場=休ム	
9-54	出港用索(投鉛手出場)	
9-56	起錨	
9-58	左舷核前進微速 右舷核後進微速	
9-59	右舷核停止	
10-1	両舷核前進半速	
10-2	正午錨	
"	両舷核前進原速	
10-3	両舷核前進半速	
10-4	両舷核前進原速	
10-13	第一戦速	
"	神角(照射) 針路適宜	
10-14	解散(投鉛手出場)	
10-25	地蔵崎燈台ヲ270度38度=見テ N25E=変針	
10-50	第三戦速	
10-53	左舷核約30度=伊勢型ヲ認ム	
11-10	第一戦速	
11-11	290度ヲ探照灯照射シテ 同艇車輪 漸次右回頭	
11-12	伊勢ノ照射ヲ受ク	
11-15	第三戦速	
11-18	駆逐隊右舷船尾ヲ及ビテ	
11-19	神角照射ヲ受テ 取舵一杯 両舷核停止 航行両舷核後進全速	
11-19	探照灯及航海灯ヲ点ス	
11-20.5	本艇艇首ヲ艇尾ニ衝突 (衝突直前右舷艇首約四隻 約200米=馬込艇 左舷=航過セントスルヲ認ム)	
"	錨鎖庫浸水 総員防水対策ヲ就ク 防水区画補強作業ヲナシ 防水幕ヲ出ス 清水庫=満水ス	
11-21	両舷核停止	
"	各カッターヲ艇尾ニ集メ 救助=送ル	
11-25	練習終結	
11-26	霧ノ附近=漂流 救助=努ム	

0329

1/2

昭和二年自八月廿五日午後十時分
至八月廿七日午後三時五分

暗號受信誌

軍機部所

1331

關係者 當直將校 通信長 副艦長 艦長

幕僚 參謀長 司令官 長官

紙信着發報電軍海



發信番號 ④ ③	受信時刻 午 11 時 26 分	着信艦所 聯合艦隊	發信艦所 菱	8 月 24 日
				通信文 聯合艦隊司令部 永野司令官
		着信者	發信者	
		時刻	發令時刻	
		午 11 時 26 分	27 驅司令	
		普通	二緊	一緊
		事	記	

葦波屋入

通信文

暗平 號文 ()

無有 線線

附表第五 (樣式第一)

0332

艦長
副長
通信長
當直將校
關係者

長官
司令官
參謀長
幕僚

暗

暗

海軍電報發着信紙

八月二十五日

發信番號 410	受信時刻 午後一時一七分	着信艦所	發信艦所	通信文	發信時刻	發信者	發信緊急度
		聯合艦隊	伊七				
		着信者	着信者	通信文	發信時刻	發信者	發信緊急度
		聯合艦隊	聯合艦隊	聯合艦隊	午後一時一七分	伊七	二緊
		午後十一時十五分頃幕僚突ッノ危険我救助ニ赴ッ		暗平	無	線線	

附表第五 (樣式第一)

昭和二年自
五月五日早島二宮奉
自五月五日早島十の分

暗鏡通使復信殿

軍艦那所

0334

關係者 當直將校 通信長 副長 艦長

幕僚 參謀長 司令官 長官

紙 信 着 發 報 電 軍 海



發信番號 一四四	送信時刻 午後七時五分	那珂神通 駝隊艦上衛完	着信艦所	發信艦所	八月二十七日
			金長加	那珂	
			剛卜古		
			者 信 着		
			第...隊司令官	第...隊長	聯合艦隊長官
			刻時令發	者信發	
			午後七時五分	那珂艦長	
			普通	至急	二緊
			無	有	事 記
			線		使用規程(四)

附表第五 (樣式第一)

0335

艦長 副長 通信長 當直將校 關係者

長官 司令官 參謀長 幕僚

海軍電報發着信紙



八月二十四日

着信艦所

發信艦所

長官 加古 剛吉
那珂

着信者

聯合艦隊
第二艦隊
第一艦隊

發信者 發令時刻

那珂
第一艦隊長
上午七時

一緊 二緊 至急 普通

記事

使用規程(四)

通信文

平文()

無線

甚平至急救助ヲ要ス
在航前部小艇下破損 錨鎖席ニ浸水
此ニ要水也

發信番號

一四〇

受信時刻

午〇時

分

附表第五 (樣式第一)

0336

艦長 副長 通信長 當直將校 關係者

長官 司令官 參謀長 幕僚

海軍電報發着信紙



八月二十五日

發信艦所 那珂
着信艦所 長門

着信者 聯合艦隊
信者 長官

發信時刻 那珂 長官
發信時刻 午七時四十分

一緊 二緊 至急 普通
事 記

使前規程 (印)

通信文

暗平號文 ()

無有線

損害状況左ノ如ク
一区水線下一三防水区割前部トリニクタク
全部破損
錨鐘庫一部破損浸水
錨鐘庫後部一區割ニ至完全堪ヘ得ニ鬼
只今念一為メ防水席展張中
十節附近ノ航行ニ差支キ鬼
殿下御異状在セズ

發信番號 一回入
受信時刻 午七時五分

附表第五 (様式第一)

2337

關係者 當直將校 通信長 副艦長 艦長

幕僚 參謀長 司令官 長官

紙信着發報電軍海



發信番號 一五〇	受信時刻 午七時五分	發信艦所 那珂		着信艦所 長門		通 信 文 件 類 別 () 無 有 線 線	附 表 第 五 (樣 式 第 一)
		着 信 者 聯 合 艦 隊		着 信 者 參 謀 長			
		發 信 者 那 珂 艦 長		發 信 時 刻 午 七 時 五 分			
		緊 急 事 件 記 號 使 用 規 程 由		普 通 事 件			

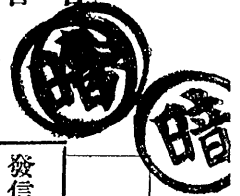
神隊機密第千番電中那珂艦下衝突ト記ス

8338

艦長 副長 通信長 當直將校 關係者

司令官 參謀長 幕僚

海軍電報發着信紙



八月二十五日

發信番號	一三四	受信時刻	午後九時五分	那珂濱習中昨夜驅逐艦某岸上船首衝突	七三又殿下六御後十ラ在七三	那珂濱習中昨夜驅逐艦某岸上船首衝突	右輕井澤之御転候リ云々	着信艦所	比志殿	發信艦所	那珂
								着信者	海軍省副長 氣附 佐且宮田中 宮内事務官	發信者	宮内省 皇族部 長
				暗平	午後九時五分	至急	普通	緊要	緊要	一緊 二緊 至急 普通	
				無	線	備用程内					

附表第五 (樣式第一)

0339

艦長 副長 通信長 當直將校 關係者

幕僚 參謀長 司令官 長官

海軍電報發着信紙



八月二十五日

發信番號 一五七	受信時刻 午七時	發信時刻 午七時	發信艦所 長明	發信艦所 那珂	着信者 聯合艦隊 長官	發令時刻 午七時 〇分	發信者 那珂	緊 緊 二 至 急 普 通	緊 緊 二 至 急 普 通	事 記	使用規程 (四)
						暗平 號文 ()	無有 線線				

衛突、概況左ノ如シ
 神道、從之面能、回頭中神道ニ火煙揚、衛突ト
 認メ急故直ニ取能、林後進前全連ヲ令シタカ
 續テ右方ヲ出テ急昇、直接ニ昇、本艦ノ
 前方ヲ解シ、切之其、後部ニ衛突セリ

附表第五 (樣式第一)